

# 調整水田を利用した灌がい水の浄化法

福島県農業試験場 冷害試験地  
平成14～16年度福島県農業試験場冷害試験地概要

## 1 部門名

農業環境－農業環境－環境汚染  
分類コード 11-01-36000000

## 2 担当者

手代木昌宏・矢島豊・菅家文左衛門

## 3 要 旨

水田は、水質の浄化機能を持つと言われている。そこで、調整水田で掛け流し灌がいを行い、田面を通過した水の水質について調査し、調整水田の水質浄化機能について検討した。

- (1) 硝酸態窒素は、調査期間を通して調整水田通過後の水にはほとんど検出されなかった。
- (2) 懸濁物質や全窒素は、代かき後雑草が急速に繁茂する6月下旬から7月上旬以降、調整水田通過後の水で含有量が低下した。
- (3) 以上のことから、雑草が繁茂した調整水田に灌がい水を掛け流すことにより灌がい水の水質が改善されることが認められた。また、雑草は、浄化の際のフィルターの役割を果たしているものと考えられた。

## 4 その他の資料等

なし